

平成25年（2013年）7月3日（水曜日）

新刊案内

人口減少下のインフラ整備

宇都正哲ほか 著

本書はインフラ産業に関わるコンサルタントの第一人者、野村総合研究所・宇都正哲氏ら8人の専門家が5年の歳月をかけ、人口減少下のインフラ整備はどうあるべきか。多面的に検討し、その結果を集大成したものである。

序章では人口減少とインフラとの関わり、その背景と問題点を提起し、第1章では「求められる



インフラの形」。第2章の計画論では、戦後のインフラ整備の歴史を詳述し、21世紀のグランドデザインのある方。第3章はシュリンクするインフラ整備にどう対処するのか、避けて通れない法整備と制度設計。第4章ではリスク分散の基本的な考え方として効率性・公平性・持続可能性を挙げ、官民連携におけるリスク分担の問題点を指摘、第5章では投資概念の理解と資金調達手段の多様化として「ファイナンス論」について詳述している。本書はインフラの老朽化対策に関する多くの論点が詳述されており、ポリシューメーカーや上級技術者にとり必携の書である。（評IIグロバルウォータージャパン代表・吉村和就氏）

東京大学出版・4千円

十税